

事務事業名 移動支援事業		所属部 健康福祉部	所属課 長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 障がい者福祉グループ	課長名 糸原 幸子
	施策名 (23) 障がい者(児)福祉の充実	担当者名 茂富 加奈子	電話番号 0854-40-1042 (内線) 2152
	目的 対 象 市民 意 図 日常生活をいきいきと安心して暮らす。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 2 8 地域生活支援事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 4 5 0 2 移動支援事業	
	基本事業名 (070) 福祉サービスの充実 目的 対 象 障がいのある市民及びその家族 意 図 安心して暮らす。		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
屋外での移動が困難な障がい者等に対して、ヘルパーが同行し外出のための支援を行う事業。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 障がい福祉サービス事業所に事業を委託して実施。(公募により最大20事業所)	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 障がい福祉サービス事業所に事業を委託して実施。 新たな委託先として2事業所を登録予定。(ただし登録の更新をしない事業所もあるため、例年並みの事業者数の見込み)			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 委託事業所の数	箇所	18	18	16	18
	イ 申請件数	件	91	79	72	70
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	障がい者(児)。					
	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
		ア 障がい者(児)数	人	3,652	3,751	3,750	3,750
		イ					
	ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	障がい者(児)が自由に外出できるようにする。					
	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	ア 利用件数	件	559	576	533	550	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	委託料 10,847千円 扶助費 3千円						
② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	4,619	5,041	5,425	6,615
		県支出金	千円	3,446	3,889	2,712	3,307
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	4,412	4,609	2,713	3,308	
	事業費計(A)	千円	12,477	13,539	10,850	13,230	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	100	100	100		
	人件費計(B)	千円	389	391	397		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,866	13,930	11,247		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
法改正により、利用の条件は緩和されつつある。通院のための利用(同行受診)希望が多い。	新規事業所の開拓	松江・出雲の特別支援学校への通学のための利用希望者が増えている。しかし、移動支援事業はヘルパーの同行のみが対象で、送迎車両に係る経費(ガソリン代等)は自己負担となるため、毎日の遠距離通学は多額の費用がかかる。(県教委の就学奨励費で還付される場合もある。)

事務事業名	移動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	義務的的事业であり、これ以外の方法はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	外出できなくなる障がい者がでる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		障害者総合支援法に定められている事業であり、義務的的事业である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		障害者総合支援法に定められている事業であり、義務的的事业である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		業務時間の削減は困難である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		対象は障害者総合支援法により障がい者に限定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 法に基づく事業であり、継続実施する。	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
現状を維持して実施する。																			